

## 当院の回復期リハビリテーション病棟について

岡山光南病院 院長 宮森 政志

リハビリテーションの語源はラテン語での re（再び）と habilis（適した）を合わせた言葉、すなわち「再び適した状態になること」「本来あるべき状態への回復」などの意味を持っています。リハビリテーションは他にも「権利の回復、復権」「犯罪者の社会復帰」などからの意味合いがあり、ヨーロッパにおいては「教会からの破門を取り消され、復権すること」も意味しています。このように欧米ではリハビリテーションという言葉は非常に広い意味で用いられていますが、いずれもが回復という意味合いを共通して持っています。

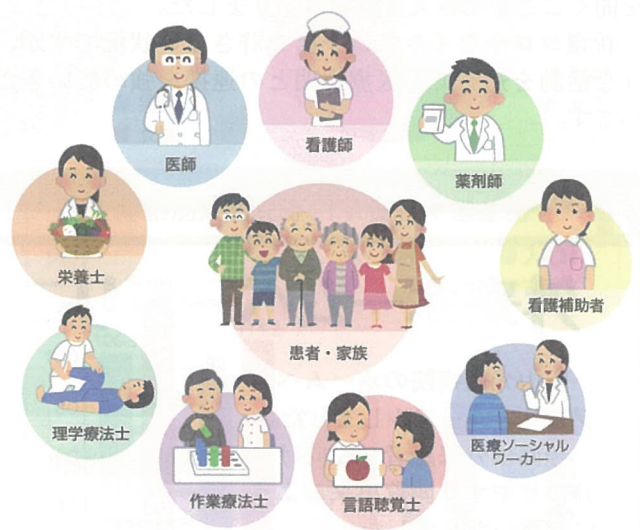
リハビリテーションは大きく、急性期リハビリ、回復期リハビリ、維持期リハビリと分けることができます。脳血管障害や骨折の手術などのため急性期で治療、急性期リハビリを受けて、病状が安定し始めた発症から1～2ヶ月後の状態を回復期と言います。この回復期に集中的なリハビリテーションを行うことで低下した能力を再び獲得するための病棟を回復期リハビリテーション病棟と言います。回復期リハビリテーション病棟の制度は平成12年4月から発足しました。岡山光南病院では平成14年より回復期リハビリテーション専門の病棟を設けて、岡山県ではいち早く回復期リハビリに特化した病院です。当院の入院生活のなかで退院に日常生活を見据えたりリハビリテーションが行えるよう、設備やスタッフ体制を整えています。患者さん一人一人に対して『個人サポートチーム』を結成し、社会復帰（家庭復帰）と寝たきり予防を目的とした個人のリハビリプログラムを作成します。そして、定められた期間のなかで、患者さんが前向きに充実した入院生活を送ることができるように全力でサポートします。

当院の個人サポートチームは、患者さん・ご家族を中心に医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、ケアワーカーが一人の患者さんに対して、日々検討を行い、全てのスタッフによるチームアプローチを行い、安全な入院生活を送るため、そして質の高いリハビリテーション医療の提供を目指しています。充実したスタッフによるリハビリテーションを日曜、祭日、年末年始をはじめ365日途切れることなく提供し、患者さんの早期回復を図ります。

当院の大きな特徴としてはリハビリを専門とする医師のほかにも、全身管理ができる循環器や呼吸器の専門医、胃瘻も対応可能な消化器の専門医、骨折や骨折術後に対応する整形外科医もいることです。

どこかに不調が生じた場合も診察と処置が可能な医療体制を整えています。また、本年度から岡山県回復期リハビリテーション病棟協会会長の責務もいただいております。岡山県全体の回復期リハビリテーションを牽引しての役割も求められています。

高齢化社会を迎えています。住み慣れた土地で生活を送ることが大きな課題です。最終的には今までと同じ生活の場に戻り、残った障害により変わらざるを得ない「生活を再構築する」ことが岡山光南病院の使命であると考えております。そのために、岡山光南病院は知己の医療、急性期から在宅への患者さんの足がかりとして、なお一層リハビリテーションの充実を図り、在宅医療との連携を密なるものにしたいた日々考えながらリハビリ医療を実践していきます。





# 第12回岡山県回復期リハビリテーション 病棟協会 研究会について

岡山光南病院 事務長 知野見 友弘

今年度から当院は岡山県回復期リハビリテーション病棟協会事務局を担当しています。

現在県下の回復期リハビリテーション病棟をもっている23病院が加盟しており、施設間での情報共有や研究会を開催しています。

今年度はコロナ禍で例年のような協会運営は困難ですが、12月3日に協会初の試みでオンライン研究会を開催し約160名の方に参加いただきました。

テーマは「回復期リハビリテーション病院における新型コロナウイルスへの感染対策」とし特別講演では、医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院 理事長の平田好文先生をお招きしご講演いただきました。熊本託麻台リハビリテーション病院では2月に新型コロナウイルスの職員感染があり、様々な苦難を乗り越えてこられました。その第一線で指揮をとられた平田先生から「濃厚接触者を作らないための対策」や「現場で働くスタッフへのメンタルケアの重要性」などたくさんの学びをいただきました。中でも地域の方に新型コロナウイルスを正しく理解していただくことが感染防止には必要で「感染防止対策教室」を積極的に行われていることに感銘を受けました。

自院のみではなく地域と一緒に新型コロナウイルスと戦っていく姿勢が必要だと医療機関として強く感じました。

また第2部では、「回復期リハビリテーション病棟の新型コロナウイルス感染対策」とし、パネルディスカッションを行いました。各施設の様々な取り組みについてタイムリーな話を聞くことができ大変参考になりました。

新型コロナウイルスは予断を許さない状況ですが、このような活動を通じて他医療機関との連携を強めていきたいと思えます。



## 外来ホームページリニューアル

ICT 管理室 武南 貴大

岡山光南病院のホームページをリニューアルしました。

今回は外来患者さん向けに分かりやすく閲覧出来るように変更いたしました。

各医師を押していただくと、どの専門分野に長けているかポップアップで表示されます。

また症状チェックや当院で出来る検査を分かりやすく表示させるようにいたしました。

より一層地域に根ざした医療を提供いたします。

**外来診療**

- 当院の外来診療
- 診療案内
- 症状チェック
- 当院でできる検査
- 当院へのアクセス
- よくある質問

**内科**

かかりつけ医として一般内科の診察はもちろん、各医師の専門分野によって、消化器、循環器、呼吸器の専門的な診察・治療を行います。  
風邪、長引く咳、動悸、胸のしめつけや痛み、食欲の低下、胃の痛みや胸やけ(ムカムカ)、便秘や続く下痢など、なんでもご相談下さい。

内科	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00 (受付8:30~11:30)	川田 隆幸 院長	森田 真太郎 内科部長	西田 慎一郎 内科部長	橋本 真太郎 内科部長	西田 真太郎 内科部長	矢野・余財 内科部長 (交代制)
15:00~18:00 (受付14:30~17:30)	休	休	休	中村 博幸 内科部長	休	休

☎086-282-0555 **当日予約可**  
初診の方も当日予約可能です。予約のない方はお待ち頂く場合があります。



# 医療介護相談会&家族介護教室

メディカルフィットネスこうなん 河内 信介

「人生会議」という名称はご存じでしょうか？

これは、2018年に厚生労働省が将来の変化に備え医療及びケアについて患者さんを主体に、その家族や近い人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセスとして国民になじみやすい名称を公募して決定された愛称です。

命の危険が迫った状態では、約70%の方が医療やケア等を自分で決めたり望みを伝えることができなくなると言われています。誰でも命にかかわる大きな病気や怪我をする可能性があります。

自らが希望する医療やケアを受けるには、前もって考え周囲の信頼できる方へ話し合い共有することが重要です。

医療保険、介護保険のしくみや利用方法、各施設サービスの特徴、在宅医療の基本的な知識を学ぶことで将来ご自身やご家族がそういった状況に見舞われた場合でも安心して医療や介護のサポートを受けやすくなります。

特定医療法人自由会には、外来診療や回復期リハビリテーション病棟の他に訪問診療や往診、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリテーション、メディカルフィットネスなど、様々なサービスを提供しています。

当法人では地域の皆様が住みなれた地域や場所で安心して生活をしていただけるように医療や介護、運動などの様々な情報を各分野の専門家が発信しております。

- 9月17日(木)「介護保険について」を開催し介護保険の基礎をお伝えしました。
- 10月10日(土)「医療・介護相談会&座談会」を実施し医療や介護等について普段では聞きにくい疑問を医師、看護師の立場からお答えいたしました。
- 11月30日(月)「在宅医療を語る」と題し、かかりつけ医の役割などについてお伝えいたしました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大により多くの方に参加していただくことが難しいため、メディカルフィットネスこうなんの会員を対象とした実施となりましたが、密を防ぐため会場を分けたりと様々な工夫をしながら今後も継続して開催予定です。

ご興味のある方は是非ご参加ください。



## こうなん在宅勉強会 再開

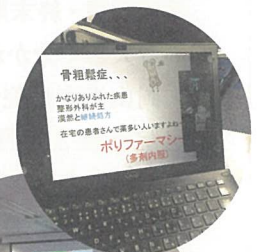
岡山光南病院 事務長 知野見友弘

新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月から延期をしていました「こうなん在宅勉強会」を9月から再開しました。

法人職員の一部は対面でそれ以外の参加者の方はオンラインで行うハイブリッド形式で実施しています。

オンラインでの勉強会なので、皆さんと直接会ってコミュニケーションがとれないなどのデメリットはありますが、職場や自宅などスマホ、タブレット、パソコンがあれば気軽に、またたくさんの方に参加していただけるメリットがあります。

今後も様々な企画をしていきますので医療・介護・福祉関係者の方は気軽にご参加ください。



問合せ

こうなんクリニック 事務長 馬淵 博基  
TEL: 086-282-7122 メール: kounan-zaitaku@jyuu-kai.jp

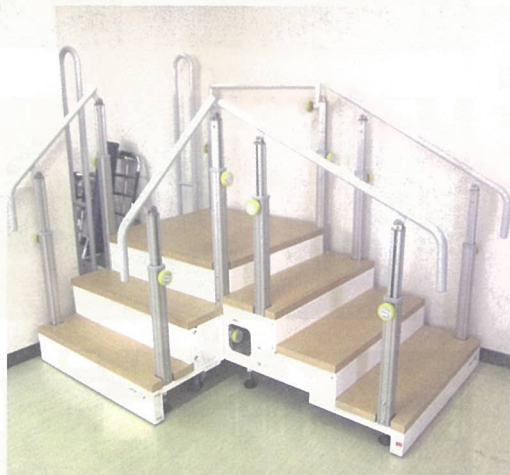


# ★リハビリ室のプレ階段が新しくなりました★

リハビリテーション部 理学療法士 三村 真里奈

## ●3方向から昇降可能！

多様な高さでの段差昇降訓練や筋力増強運動が可能となりました☆彡



左：30cm 右：20cm

## ●バスステップが追加されました！

自宅退院されてからバスを利用される方や自宅に高い敷居などがある方の練習に使用しています☆彡



バスステップ



## 岡山光南病院 訪問リハビリ拡大にむけて

岡山光南病院 理学療法士 藤本 正直

令和2年8月1日付で、理学療法士 藤本正直、作業療法士 萩原千晴 の2名がこうなん訪問看護ステーションから岡山光南病院の訪問リハビリ部門に異動しました。

国が進めている「地域包括ケアシステム」の中で、訪問リハビリの役割としては、「在宅生活を安心して過ごしていただく生活動作能力改善」にあります。

医療機関からの訪問リハビリは、退院直後や何らかの原因で日常生活動作が低下した利用者に対する期間・目標を定めたリハビリの提供、訪問看護ステーションからのリハビリは、看護と共同し、重度疾患・終末期・難病などの利用者に対する日常生活動作能力の向上・維持を目的としたものと、両者大きく分かれた流れになってきています。

岡山光南病院からの訪問リハビリは、当院退院直後3ヶ月限定の方が多かったのですが、私たち2名は、他院退院直後3ヶ月以上リハビリが必要な方にも受け入れ幅を拡大しリハビリを提供いたします。今後、在宅医療に携わる専門職の一員として、利用者の在宅生活を支える役割の一端が担えるよう頑張っていきたいと思っております。





# 劇ごっこ「ほほえみラーメンやさん」を 開催しました。

ほほえみ保育園 園長 齋藤 尚美

今年は新型コロナウイルス感染予防のため、様々な保育園行事について中止や延期を余儀なくされています。保護者参加型「フィットネスお楽しみ会」は保護者の方からも楽しみにされている行事の一つです。全面中止ということではなく、新しい試みとして動画配信を行いました。

今年の劇ごっこは「ほほえみラーメンやさん」です。

子どもたちは、「たまご」、「ねぎ」、「チャーシュー」、「なると」、「とうもろこし」のラーメンの具材になって登場です。具材の名前を呼ばれると大きな声で「はい！」と返事をして登場です。上手にセリフも言うことができました。最後は「とうもろこし」の赤ちゃんたちがかわいい箱に入って登場しました。

ラーメンどんぶりのトンネルを上手にくぐり「ほほえみラーメン」の完成です！最後にみんなで「ラーメン体操」を踊りました。

子どもたちの表情は達成感に満ち、一人ひとりの成長を感じることができました。

保護者の方へは動画での披露のみとなりましたが、これからは新しい生活様式を意識しながら今できることを見つけて、子どもたちにいろいろな経験ができるよう、保護者の方と子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

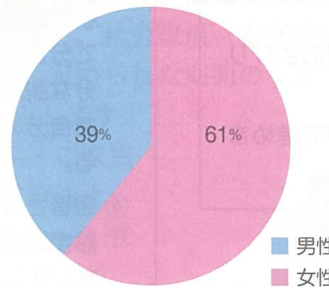


## 令和元年度 回復期リハビリテーション病棟実績

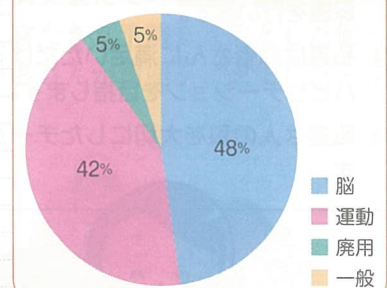


入院患者数	266名
退院患者数	266名
平均年齢	78.7歳
平均在院日数	61.9日
在宅復帰率	75.11%

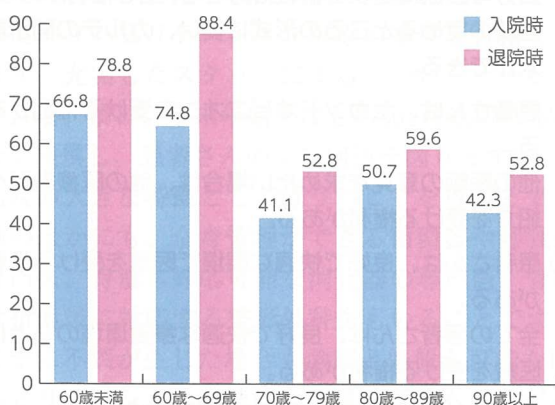
入院患者性別



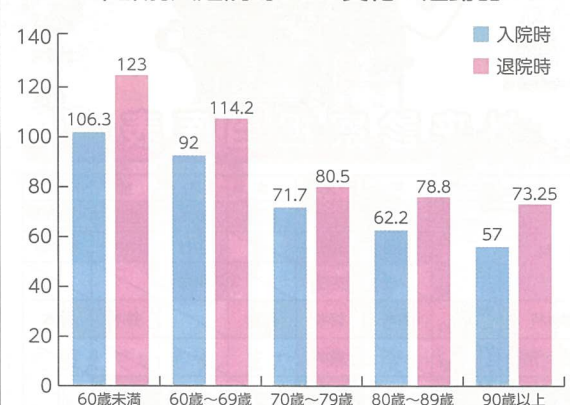
入院患者割合疾患別



年齢別入院退院時 FIM 変化：脳血管



年齢別入院退院時 FIM 変化：運動器



### 施設基準 届出状況

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1
- 体制強化加算1
- 疾患別リハビリテーション
- 脳血管疾患等リハビリテーション料1
- 運動器リハビリテーション料1
- 呼吸器リハビリテーション料1
- 廃用症候群リハビリテーション料1



# 冬脱水に注意

岡山光南病院 外来看護師 山谷 佳江

冬は汗をかく機会が少ないため、喉の渇きを感じにくくなり、水分摂取量が少なくなります。また、空気が乾燥しているため、呼吸や皮膚・粘膜からより水分が蒸発してしまいます。

## かくれ脱水サイン

『カサ・ネバ・ダル・フラ』と覚えるとよいとされています。

カサ：手先などの皮膚がかさかさしている      ネバ：口の中が粘る、食べ物が飲み込みにくい  
 ダル：脱水の初期から表れる症状でダルさを感じる      フラ：めまいや立ちくらみでフラっとする状態

冬でもこまめに水分を摂るように心がけて下さい。

## 基本理念

すべての患者さんが身体的、社会的状況に応じた最適な医療が受けられる病院および診療所を目指します。

### 理念に基づく方針

- ① 私達は地域医療機関や保健福祉施設と密接な連携をとり、きめ細かな心配りのある医療を目指します。
- ② 私達は患者さんに対して十分な説明を行い患者さんの選択に基づいた開かれた医療を行います。
- ③ 私達は患者さんの権利の尊重とプライバシーの保護を行います。
- ④ 私達は患者さんに満足いただける医療およびリハビリテーションを目指します。
- ⑤ 私達は人の和を大切にしたいチーム医療を進めます。



## 外来診察担当医表

	診察時間	月	火	水	木	金	土
内科	9:00 ~12:00	橋本	中村	西田	橋本	西田	
		川田	森田		中村	中村	担当医
	15:00 ~18:00				中村		
整形外科	9:00 ~12:00	鈴木	鈴木	鈴木		鈴木	鈴木
内視鏡(胃・予約)	9:00 ~12:00		橋本				
摂食・嚥下(予約)	14:30 ~15:00		担当医			担当医	

内科 胃腸科 呼吸器科 循環器科 整形外科 リハビリテーション科

**\*午後は訪問診療・予約検査、  
 外来：木曜内科のみとなります。**

\*受付時間 午前 8:30~11:30 午後 15:00~17:30

\*診察時間 午前 9:00~12:00 午後 15:00~18:00

休診日 日曜・祝日

\*外来診察表は、都合により変更することがあります。お電話でお確かめ下さい。

## 患者さんの権利章典

- ① 患者さんは医療を平等に受ける権利がある。  
 何人も平等に医療を受ける権利がある。
- ② 患者さんは、一人の人間としてその人格や価値観などを尊重される権利がある。  
 患者さんは、医療の場において、人格・価値観など人間としての尊厳を最大限に尊重される権利がある。病院職員は、このことが人間として当然の権利であることに思いをはせ、患者さん中心の医療を推進する。
- ③ 患者さんは、十分な説明を受ける権利がある。  
 (説明と同意および理解と選択の権利)  
 検査成績、診断、治療方法、今後の見通し等について分かりやすい言葉や方法で知りたいことに対し十分な説明を受ける権利がある。その上で治療方法等を自分の意思で選択または拒否する権利と責務がある。
- ④ 患者さんは、プライバシーが守られる権利がある。  
 診療の過程で得られる個人情報の秘密が守られます。
- ⑤ 患者さんは、カルテを知る権利がある。  
 自分の診療に関する情報に対して、知る権利がある。当院の定めるところの形式に従い、カルテの開示請求ができる。
- ⑥ 患者さんは、セカンドオピニオンを受ける権利がある。  
 他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関へ紹介を受ける権利がある。
- ⑦ 患者さんは、良好で快適な環境で医療を受ける権利がある。  
 全ての患者さんは、良好で快適な療養環境のもとに医療を受ける権利がある。
- ⑧ 患者さんは、健康教育を受ける権利がある。  
 健康を維持するために必要な健康教育を受ける権利がある。



医療法人 自由会 岡山光南病院

岡山市南区東畦767-3 TEL086(282)0555

ホームページ <http://medical-jiyukai.jp/>